

ホットプラグツールの使い方

2013年2月 第1.0版

ホットプラグツール(添付ソフト)は、パソコンの電源を落とさずに、本製品に接続したハードディスクなどのデバイスの取り外し/交換(ホットプラグ機能)を可能にするソフトウェアです。

1. 【ホットプラグツールを使用する方法】: ⇒1ページ(本ページ)
ハードディスクの接続を例に説明します。
2. 【ホットプラグツールの設定画面について】: ⇒4ページ
ホットプラグツールの起動設定や機能のカスタマイズについて説明します。
3. 【ホットプラグツールの終了について】: ⇒6ページ

⚠ 警告

取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本書の作業手順に従ってください。
下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または、記録データが損失する場合があります。

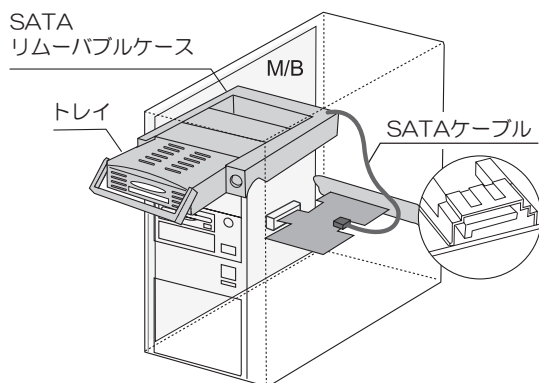
1 ホットプラグツールを使用する方法

ハードディスクの接続を例に説明します。

1. 内蔵ハードディスクを接続します。

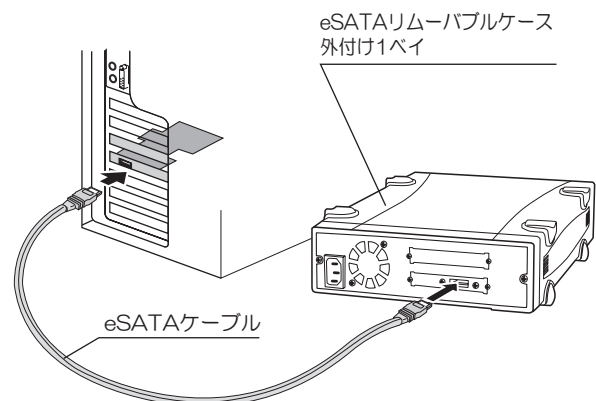
●内蔵ハードディスクの場合

SATA接続



●外付けハードディスクの場合

eSATA接続

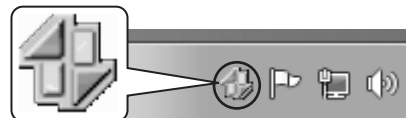


※接続したデバイスへの電源供給はおこなえません。

※ホットプラグツールはポートマルチプライヤー対応デバイスにも対応しています。
4ページ「ポートマルチプライヤーデバイス接続時の使用方法」も参照ください。

2. パソコンを起動し、ハードディスクを認識すると、デスクトップ右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

ハードディスクの取り外し/交換をおこなう場合、アイコンをダブルクリックしてください。



ご注意

- 【ホットプラグツール】は常駐ソフトです。
- ホットプラグツールの初期設定では、機器を接続していない場合、および取り外し可能なデバイスが接続されていない場合(ダイナミックディスクなど)、アイコンは表示されません。
- ホットプラグツールのインストールをおこなっていない場合、アイコンは表示されません。

3. アイコンをクリックすると、接続しているドライブ情報が表示されます。

取り外すドライブを選択し、クリックしてください。



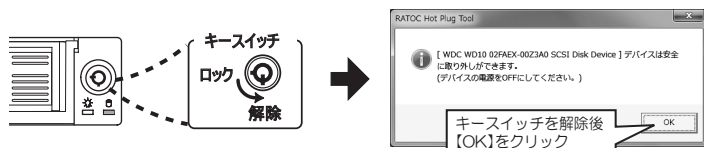
※ 全てのWindowsでは、SATAデバイスを接続した時、“SCSI Disk Device”と表示されます。表示されるデバイス名は接続するデバイスにより異なります。

4. “デバイスは安全に取り外しができます。”のメッセージが表示されます。

※弊社製リムーバブルケースを例に説明します。

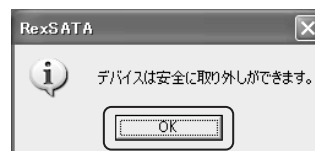
Windows 8/7/Vista/Server 2008R2/Server 2008の場合

メッセージ表示後、必ずトレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。手順が異なるとドライブが再接続されます。



Windows XP/Server 2003R2/Server 2003の場合

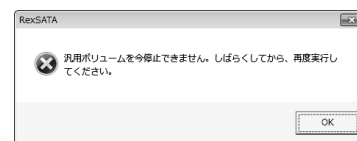
【OK】をクリックしてください。



注意: 汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合

このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 2. の手順からおこなってください。

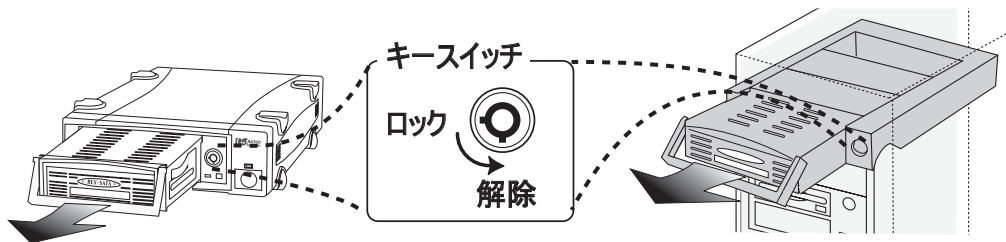
ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視をおこなうソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。無理に取り外しをおこなうと、ハードディスクの破損、記録データの損失などが発生する場合があります。



5. デバイスを取り外します。

トレイの交換

キースイッチのロックを解除し、トレイを取り外してください。



トレイ交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

外付けハードディスクの取り外し

外付けハードディスクの電源を切るか、eSATAケーブルを抜いてください。



外付けハードディスクの交換後、eSATAケーブルを接続するか、外付けハードディスクの電源を入れると再びドライブが表示されます。

ポータルチプライヤー対応デバイス接続時の使用方法

ホットプラグツールは、ポータルチプライヤー対応デバイスにも対応しています。



RAID対応
USB3.0/eSATA
リムーバブルケース
外付け5ベイ
(型番:SA3-DK5-EU3R)

- 多段タイプのデバイスを接続した場合は、何段目に装着したトレイかの情報を加えて表示します。

```
[ HOST:5 PORT:1 ] PORT MULTIPLIER UNIT
[ TRAY:1 ] Hitachi HTS541260H9SA00 SCSI Disk Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します。
[ TRAY:2 ] WDC WD10 01FALS-00J7B1 SCSI Disk Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します。
[ TRAY:3 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (G:) を安全に取り外します。
[ TRAY:4 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (H:) を安全に取り外します。
[ TRAY:5 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (I:) を安全に取り外します。
```

- PORT MULTIPLIER UNITを選択した場合、ドライブを一括で取り外します。

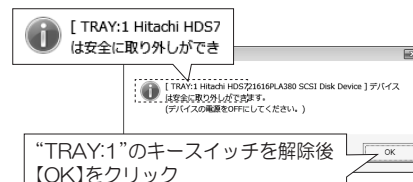
例)

選択
TRAY:1,2,3,4,5が
取り外される。

```
[ HOST:5 PORT:1 ] PORT MULTIPLIER UNIT
[ TRAY:1 ] Hitachi HTS541260H9SA00 SCSI Disk Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します。
[ TRAY:2 ] WDC WD10 01FALS-00J7B1 SCSI Disk Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します。
[ TRAY:3 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (G:) を安全に取り外します。
[ TRAY:4 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (H:) を安全に取り外します。
[ TRAY:5 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (I:) を安全に取り外します。
```

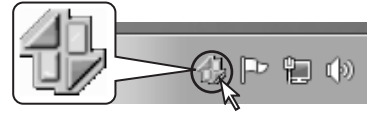
※Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合

取り外しメッセージで、取り外すTRAY Noを1つずつ表示します。該当段のトレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。



2 ホットプラグツールの設定画面について

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ここでは、ディスクの取り外し/ホットプラグツールの起動に関する設定/機能のカスタマイズが可能です。



1 ハードウェアデバイス

現在接続しているデバイスが表示されます。停止するデバイスを選択し【停止】をクリックすると、デバイスを取り外すことができます。

2 システム起動時にホットプラグツールを起動する。

ホットプラグツールを常駐させない場合、このチェックBOXのチェックを外してください。次回起動時から、ホットプラグツールは自動的に起動(常駐)しません。

※1:常駐させていない時の起動方法は、【スタート】→【すべてのプログラム】→【RATOC ホットプラグツール】内の【RATOC ホットプラグツール】をクリックしてください。

※2:常駐時に※1と同じ操作をしたときは“ハードウェアの安全な取り外し”ダイアログボックスが表示されます。



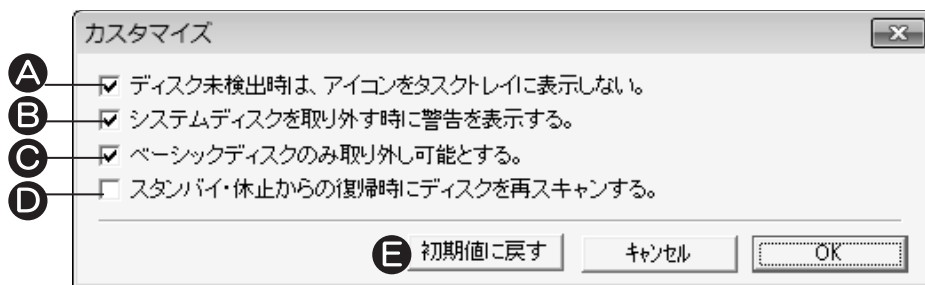
※画面はXPの場合。

3 再スキャン

【再スキャン】をクリックするとデバイスの検索をします。ディスクが見つからない場合や、デバイス名がUnkown Deviceなどと表示される場合などに使用してください。

4 カスタマイズ(上級者向け)

【カスタマイズ】をクリックするとダイアログボックスが表示されます。ここでホットプラグツールの機能をカスタマイズすることができます。



- A** ディスク未検出時は、アイコンをタスクトレイに表示しない。
※チェックを外すと、ホットプラグツール起動時は常にアイコンが表示されます。
- B** システムディスクを取り外す時に警告を表示する。
※チェックを外すと、システム(OS)がインストールされている可能性があるディスクを外す場合でも、警告を表示しません。
- C** ベーシックディスクのみ取り外し可能とする。
※チェックを外すと、ダイナミックディスクなども取り外し対象となります。
※ダイナミックディスクのドライブ文字は表示されません。
- D** スタンバイ・休止からの復帰時にディスクを再スキャンする。
※復帰時にディスクが見つからない場合にチェックしてください。
※正常なパソコンではチェックをONにしないでください。再スキャン処理時に余計なリソースを消費します。
- E** 「初期値に戻す」ボタン
※クリックするとチェックON/OFFを初期値に戻します。



ご注意

システムディスク/ダイナミックディスクの取り外しはシステムエラーの発生リスクを伴いますので、ご注意ください。

3

ホットプラグツールの終了について

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されますので、【アプリケーションの終了】を選択してください。



アイコン表示がないときは

ディスク未検出でアイコン表示がないときに、“アプリケーションの終了”をおこないたい場合は、まず、スタートメニューから“RATOC ホットプラグツール”を選択し、カスタマイズ(P4参照)により、アイコンを表示させてください。